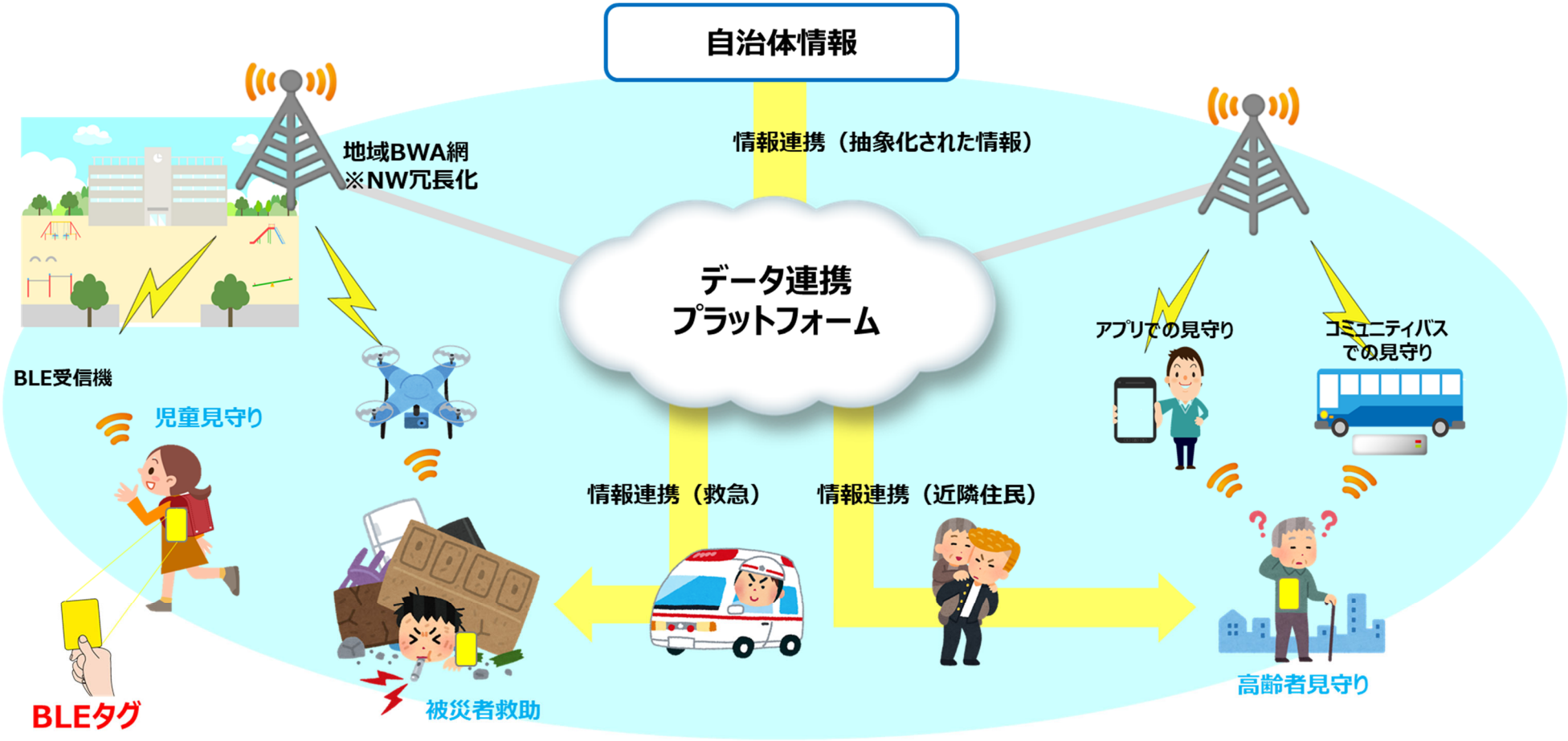
様式３

推薦調書（アイデア部門）

推薦都道府県	奈良県

地方公共団体名	奈良県北葛城郡広陵町			
アイデア名称	BLE タグを活用した地域協働見守りサービス			
連携自治体、企業、団体等	町内各小学校			
デジタルを活用したアイデアの概要（デジタルを活用したアイデアの全体概要と解決する個別課題の具体的内容）	（種類）	①	（左記が①の場合の分野）	防災
	【デジタルを活用したアイデアの全体概要】 ○　町内の高齢者や子どもに BLE タグ（Bluetooth Low Energy。低消費電力の近距離無線）を配布し、救助や支援が必要な住民の位置情報を緊急性に応じて行政が取り出せるネットワークを構築する。 　また、取得した位置情報を第三者から個人が特定されない形で管理し、支援要請に応じて自治体が保有する各種情報と連携しながら、救助に要する時間を短縮できる仕組みの実現を目指すもの。 【解決する課題の具体的内容】 ○　本町では、町東部での高齢化が進んでおり、認知症等による高齢者の行方不明事案が多数発生し、職員の対応負担が大きくなっている。一方、町西部ではファミリー層（子育て層）の流入が増えており、子どもの安全安心の確保による住民満足度向上が課題となっている。 　これらの課題に対応するため、BLE タグを活用し、高齢者や子どもを中心に平時と非常時の双方をカバーする見守りの仕組みを構築する。			
デジタルの活用により目指す成果（数値）	【取組が目指すアウトプット】 ・BLE タグの配布数：令和５年度１，５００台、令和８年度３，０００台 ・受信端末のエリアカバー率：令和６年度４０％、令和８年度９０％ 【取組が目指すアウトカム】 ・行方不明者の発見に要する時間の短縮： 　令和３年度　８時間、令和６年度　４時間、令和８年度　２時間 【取組が目指す総合的なアウトカム】 ・死者数・行方不明者数の減少：令和３年度　３人 →　令和８年度　０人			

本アイデアの特徴的な点やデジタルの活用において工夫した点	○<u>BLE タグを活用する点</u> 　位置情報サービス等でよく用いられる GPS 端末ではなく BLE タグを使用することにより、導入コストを抑えられ、キーホルダー程度のサイズで対象者に配布できる。また、消費電力も少なく、約 1 年充電（電池交換）不要で利用できるため、メンテナンス面での負担を少なくできる。 ○<u>住民と協働して施策を継続できる点</u> 　BLE 通信の受信機として、据え置き型の受信機だけではなく、BLE タグに対応した見守りアプリをスマートフォンにインストールすることにより、児童の保護者等住民のスマートフォンが受信機の役割を果たすことができる。こうした住民との協働により、町の費用負担を低減し継続的に施策を展開できる。 ○<u>データプラットフォームの構築によりサービスを拡張できる点</u> 　見守りタグから収集した位置情報に GIS に保管している地理情報、その他住民から提供された情報を統合したデータプラットフォームの構築により、将来的には行方不明等が起きた後だけでなく、蓄積した情報と AI を活用し、危機が予想される住民を事前に察知し近隣住民にアラートを上げて救助協力を要請できる予防システムなどの拡張サービスを実施できる。
今後の展望	・令和５年４月　住民向け説明会 ・令和５年７月　町内小学校低学年児童において実証実験を開始 ・令和６年４月　町内の全小学校全児童においてタグの運用開始 ・令和６年９月　町内 75 歳以上高齢者世帯の希望者へタグの配布を開始 ・令和８年４月　AI を用いた危機予測アラートシステムの運用開始

「BLE タグの活用による地域協働見守りサービス」概要図